

のじぎくクラブ兵庫の東日本大震災被災地支援の取組み

平成 26 年 3 月 31 日現在

平成 23 年 3 月 11 日、東日本大震災が発生してから早や 3 年が経過しました。甚大な被害を受けた被災地では、復興・クラブ再建に取り組まれています。のじぎくクラブ兵庫では、大震災発生以降、元気袋や、四季折々に手作り品等をつくり、県下全市町老連が被災地支援に取り組んできました。

休耕田利用して「のじぎくクラブ兵庫農園」開園



『さつまいも農園』

のじぎくクラブ兵庫の若手委員会は、平成 25 年 6 月 1 日（土）、加西市の金澤氏の休耕田を利用して、さつまいもの苗 400 本を植えつけしました。

10 月 13 日（日）に女性・若手委員等や子ども達と一緒に 450 k のさつまいもを収穫しました。

そのさつまいもは、11 月 2～3 日のふれあいの祭典～ひょうご健康福祉まつり～において、のじぎくクラブ兵庫が出店するチャリティーバザーで販売し、被災地支援に役立たせました。

『玉ねぎ農園』

さつまいも農園に続いて、来年度にむけて南あわじ市で平成 25 年 11 月 24 日（日）のじぎくクラブ兵庫と淡路ブロックが共催で、南あわじ市の休耕田を利用して玉ねぎ農園を開園しました。



事前に南あわじ市老連田中前女性部長が畑を整地したところに、のじぎくクラブ兵庫の女性・若手委員等と淡路ブロック 3 市の会長はじめ役職員等約 30 名が参加して、6,000 本の苗を植えつけました。3 月 1 日には、淡路ブロック若手委員と県老連若手・女性委員で草引き。収穫した玉ねぎはこれからの被災地支援に役立たせます。



『じゃがいも農園』

5 月末から 6 月の上旬にとれる玉ねぎの収穫に合わせて、加西市の金澤氏休耕田を利用して 3 月 21 日（金）、女性・若手委員の有志と芦屋市・三木市老連等の仲間 12 人で「じゃがいも」の種を植えつけしました。品種は、だんしゃく・メークイン・きたあかりの 3 種類で、淡路の玉ねぎとあわせて販売する予定にしています。



「忘れていないよ」の気持ちを伝えるため「元気うちわ」を届ける！

のじぎくクラブ兵庫は、東日本大震災被災地の仲間を励まし、「忘れていないよ」の気持ちを少しでも伝えるために平成 25 年 6 月末から 7 月にかけて、福島県老人クラブ連合会の被災された皆さんに手作りの「元気うちわ」1,500 本を届けました。

「元気うちわ」は兵庫県下 38 市町老人クラブ連合会の皆さんから、ご協力いただいたもので、それぞれに絵・書・ちぎり絵等で工夫をこらし、メッセージを添えたものです。



そよ風をうけて素敵にまわる風鈴を贈る！

加西市老人クラブ連合会は、東横田老人クラブの、山本六良太夫様から手作りの風鈴100個を震災被災地支援に役立たせてほしいと寄贈があり、平成25年7月11日に岩手県釜石市老人クラブ連合会に贈りました。



被災地へ出向き視察交流を図る！



岩沼市老連の皆さんに支援の品を渡す。

平成25年度ふれあい・交流の旅は、9月29日（日）～10月2日（水）の3泊4日で、東北被災地視察交流を取り入れた旅を実施し、24名が参加しました。

宮城県岩沼市と気仙沼市老連を訪問しました。

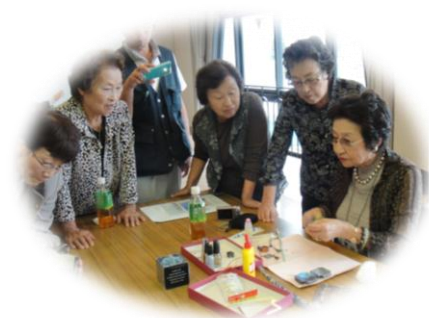
9月29日（日）仙台空港近くの仮設住宅が隣接している岩沼市総合福祉センターに立ち寄り、岩沼市老連会長や副会長・女性部長の出迎えを受けのじぎくクラブ兵庫から仮設住宅入居高齢者へホカホカカイロ500枚と水仙の球根等を手渡しました。

平成25年9月30日は、宮城県気仙沼市老連と交流を図りました。

気仙沼市老連との交流の前に、気仙沼市老連事務局のご案内で、被災地を視察しながら被災状況の説明を受け、気仙沼市中央公民館において市老連会長・副会長や被災者等と、昼食を共にしながら交流を図りました。

また、仮設住宅入居者にのじぎくクラブ兵庫から善哉を持参し、一部を気仙沼市老連役員や被災者と一緒に善哉をつくり、参加者にふるまいました。

交流の中で、気仙沼市老連副会長が作成された大震災の浸水マップや老人クラブの今の現状等の説明や、芦屋市老連の青山氏からお土産のコサージュのつくり方等を披露されたり、有意義な1日を過ごしました。



芦屋市老連の青山氏からコサージュのつくり方を披露



気仙沼市老連副会長から浸水マップの説明



寒い冬にむけて着物を再利用して甚平を贈る！

尼崎市開明老連は、半天（甚平）づくりで東北支援をしようと、「お針っ子サークル」を結成し、月2回着物や羽織をほどこき、洗ったりアイロンがけをしたりして着物を再利用してガンバッています。出来上がりの品は、震災被災地支援のバザーで販売したり、被災地に贈り喜ばれています。11月に甚平31枚とハンカチや毛糸で編んだ幸せの蝶々のアクセサリーの入った巾着袋を岩手県宮古市老連に贈り、宮古市老連では、友愛訪問の際にプレゼントされ大変喜ばれました。



阪神南ふれあいフェスティバル・ひょうご健康福祉まつり において東日本大震災被災地支援チャリティバザー実施！

阪神南ふれあいフェスティバル・ひょうご健康福祉まつりふれあいの祭典が平成 25 年 11 月 2(土)～3(日)に尼崎市中央の森緑地で開催されました。

のじぎくクラブ兵庫は「東日本大震災支援、みんなで参加して応援しよう！」のテーマで、各市町老人クラブ連合会から提供していただいた商品を販売したチャリティーバザーや、ニュースポーツのグラウンド・ゴルフでホールインしよう！子ども向けにスーパーボール&人形すくいや風船で花や動物を作り等、大人も子どもも来場者に喜ばれ、2日間で延べ 2,000 人が来訪しました。

- ・バザー商品は 37 市町老連等より提供 (3,041 点)
(タオル・バスタオル・洗剤・衣類・バッグ類・食器・新米・リンゴ等・・・)
- ・バザー売上金額 556,668 円 (売上金額は、グラウンドゴルフ大会・健康ウォークラリー講習会場等の売上も含む)
- ・バザー売上金額は、支援関係所要経費に使い、残額は義援金として被災地に贈ります。



「感謝袋」に対して年賀状でお礼！

これまでの東日本大震災被災地支援に際し、福島県内の 59 市町老連の女性会員が手づくりし、お礼の心の寄せ書きを同封し感謝の意がこめられた「感謝袋」250 個が届き、本会各市町老連に届けました。



福島県老連からの感謝袋

そのお礼に本会女性・若手委員が中心になって市町老連で年賀状を 250 枚作成し、福島県老人クラブの皆様へ送付しました。



西脇市老連絵手紙教室で
お礼の年賀状を作成



バザーを開催して震災被災地支援

芦屋市浜町寿楽会では、ボランティア活動の一環として、バザーを 11 月 1・2 日に開催。「ご家庭で不要のお宝ありませんか？」と呼びかけして、集めた品を安価で欲しい人に買っていただき、売上金は被災地支援に活用しています。

震災直後の「元気袋」の支援から交流が続いている宮城県石巻市老連へ 12 月にお正月のお餅等に役立たせてほしいと売上金の一部 35,250 円を贈り喜ばれました。



平成 25 年度義援金募集の取組み

各市町老連から 982,567 円集まりました。ご協力ありがとうございます。

平成 26 年 2 月 3 日 (月) 福島県老人クラブ連合会を訪れ、県老連田中会長より東日本大震災の被災者やクラブ再建に使ってほしいと義援金 100 万円を福島県老連渡部会長に届けました。

これは、各市町老人クラブ連合会からご協力いただいた義援金と、チャリティーバザーの売上金の一部を併せたものです。

